

震災の経験から

南三陸町に学ぶ



南三陸町 及川明氏

1月26日、平成28年に災害時相互応援協定を締結した宮城県南三陸町から総務課長の及川明氏を講師にお招きし、職員を対象に「南三陸町 東日本大震災からの創造的復興」と題した講演会を開催しました。

宮城県の北東部、三陸海岸の南側に位置する南三陸町。平成23年3月11日に発生した東日本大震災では市街地など低地のほとんどが巨大津波にのみ込まれた。建物は3,321戸(全戸数の6割超)が全半壊し、死者・行方不明者831名にのぼった。

「6E」と思い込んだ

3月11日午後2時46分、立っただけで揺れないほどの物凄い揺れに襲われ、庁舎内にいた私はすぐに屋外に飛び出しました。しかし外に出ても立っていられず、公用車のドアミラーにしがみついています。揺れが収まったあとに庁舎内に戻ると、キャビネットや書類が床一面に散乱しており、電気も止まりました。

薄暗い庁舎の中で後輩職員と「ついに『あいつ』がやってきたか」と言葉を交わしました。「あいつ」とは、10数年以内に90パーセント以上の確率で起こりうると言われていた「宮城県沖地震」で、その規模はマグニチュード8程度、津波の高さは6.7m〜6.9mと

想定されていました。

間もなく伝えられた気象庁の第一報は「津波到達予想は午後3時、高さ6m」で、すぐに職員間で共有しました。私の頭の中に「午後3時『6E』がインパクトされ、『やはり』『あいつ』だな」と思い込んでしまいました。この思い込みが後の初動に影響を与えることとなります。実際に町を襲った津波の高さが10mを越えていたことを知ったのは数日後でした。

ポイント

どんなときでも先入観を捨てて、常に新しい情報を確認したうえで行動することが大切です。

自分自身を守る

屋上で観察していた職員から、津波が迫ってきたからすぐに避難するよう呼びかけられ、地上にいた私は駆け上がったのですが、間もなくこれが現実かと疑うような津波に頭から呑み込まれました。防災庁舎の屋上は高さ12mだったのですが、到達した津波の高さは15.5m、屋上においても3.5mほど被ることになりました。私は近くにあった手摺を掴みました。濁流に揉まれながら一瞬「手を放して泳いだ方が助かるかもしれない」とも考えましたが、すぐに思直し、1分か2分のあいだ必死に手摺を掴んでいました。

庁舎には住民・職員あわせて54名が避難していましたが43名が犠牲となりました。天が与えた試練とすればむごすぎる、今もなお無念でなりません。職員の中には家族を失って、心までどん底に突き落とされて、気持ちの切り替えができない者も多かったです。私自身は住宅は流れてしまいました。家族に被害がなかったことに救われました。

住民でも職員であってもまずは自分自身の身を守ることの重要性というものを痛感させられました。「自助」ということから言うと、「逃げる勇気」も必要だったと思います。緊急時に「公助」が届くのは最後です。それまで自分たちで命を守ることが何より大切です。



ポイント

いざというときに助け合えるのは家族、近所です。普段から近隣の付き合い、コミュニケーションを大切にしましょう。

普段からの備えを

震災発生の翌日に災害対策本部を設置しました。本部となる体育館に到着したとき、そこは避難者で溢れており異様な雰囲気になっていました。ライフラインが途絶え、食べられるものもままならず、連絡手段もない。非常に殺伐とした状況でした。

一次的には町内の避難所・集会所で避難生活をスタートさせましたが、ライフラインが整っていない状況で長期間の避難生活が想定されることから、ライフラインが整っている他の自治体の宿泊施設などを二次避難所として設置しました。仮設住宅については町内だけでは用地が不足したため町内外あわせて設置しました。

避難生活で大きな支障となったのがライフラインの復旧でした。電気の復旧は80日後、水道は143日後と困難を極めました。特に水道については3か所の浅井戸から汲み上げた水を供給していましたが、津波の浸水被害によって塩分を含んでしまいました。周辺の土壌まで塩分濃度が高くなり、水道水として供給できない状態がしばらく続き、仮復旧が遅れました。

大規模災害時は被災者全員を支援することは困難です。自助の備えとして最低3日分の水・食料を普段から備えておくべきです。今回の震災でも3日目あたりからは何らかの支援物資が届き始めました。

支援のありがたさ

災害時応援協定について、震災前は県内を中心とした近隣自治体との協定が中心で、遠方は山形県庄内町だけでした。しかし震災では沿岸自治体が共に被害に遭って、応援することも、してもらうこともできませんでした。そのような中で庄内町さんからは発災の2〜3日後から毎日5,000個以上のおにぎりが届きました。言葉に尽くせないほどありがたかったです。

現在原村さんをはじめ全国10の遠方自治体と災害応援協定を締結しています。これまでいただいた支援に感謝し、次はこちらが恩返しをする番だと思っています。困ったときはぜひ声をかけてください。

ポイント

最低3日分の食料・水は普段から備えておきましょう。また身の回りの非常時持ち出し品なども定期的に確認しましょう。

災害時には最新の正確な情報を入手しましょう

有線放送は電話でも聞けます

☎ 0800-800-6299

(通話料無料)



最新の放送から順に過去の放送(20回分)が流れます

南三陸町 職員派遣

■埋蔵文化財に関する業務(平成24年10月1日~平成26年3月31日)



防災集団移転工事のため遺跡の発掘調査に行きました。落ち込んでいた様子を見ていると、実際に足を運んでみると関わった方々は「復興のために協力してくれてありがとう」と明るく歓迎してくれ、前向きに出来ることに取り組む姿が印象的でした。



教育課付(当時) 佐々木 潤

■税務に関する業務(平成24年4月1日~9月30日)

家屋台帳の整備に行きました。現地に足を運び、残っている建物の評価を記録する作業を行いました。南三陸町に向かう道中、内陸から海沿いに走っていると景色が一変し建物が流されてしまった後の景色に衝撃を受けました。



総務課付(当時) 齊藤 達生

原村の支援・取組み

平成23年3月に発生した東日本大震災。国は、復興に向けて各地方公共団体へ職員の派遣等の支援の依頼を通知しました。村は、復興の一助にと宮城県南三陸町、岩手県陸前高田市へ物資の提供や職員の派遣を行いました。

その後も、交流を続ける中で平成28年5月2日に村と宮城県南三陸町との間に「災害時における相互応援協定書」が交わされました。

南三陸町 短期リフレッシュ事業

社会福祉協議会やボランティア連絡協議会主導のもと、平成23年から平成27年の5年間で244人の避難者を受入れ交流会や観光を通じて深い交流を行うことができました。

住宅防火 いのちを守る10のポイント

4つの習慣

1 寝たばこは絶対にしない、させない

2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない

3 こんろを使うときは火のそばを離れない

4 コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

6つの対策

1 出火防止
過熱防止センサー

2 早期発見
定期的な点検
ボタンを押す ひもを引く

3 延焼拡大防止
防火カーテン
防火アームカバー
エプロン

4 初期消火
火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく

5 早期避難
お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく

6 地域の助け合い
防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

🔥 昨年の火災発生状況から

令和4年(1～9月)、全国の火災件数は27,432件でした。これは、おおよそ1日あたり100件、14分ごとに1件の火災が発生したことになります。その出火原因として「たばこ」が最多で、続いて「たき火」「こんろ」「放火」の順です。

令和4年1月～12月の村内では、1件の「建物火災」でした。この火災による死傷者はいませんでした。

🔥 火災が発生しやすい季節です

空気の乾燥や季節風により、火災が発生しやすい気候になっています。火気の使用、取扱いには十分注意してください。また、たき火を行うときは気象状況を考慮するとともに**その場を離れず、終わった後は完全に消火してください。**

🔥 住宅用火災警報器は設置しましたか？

火災による死者の5割以上は逃げ遅れです。その逃げ遅れを防ぐ切り札は、**住宅用火災警報器**です。**寝室**、また上階に寝室があるときは**階段室**に設置が必要です。ただし、火災はどこで起きるか分かりません。リビング等各部屋に設置しておくとう安心です。

※設置されている家庭は確認を!!

住宅用火災警報器は、古くなると本体の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあり、とても危険です。住宅用火災警報器に記載されている「製造年」を確認して**10年を目安に交換してください。**また作動確認をした際、正常なメッセージが鳴らない場合は電池切れの可能性あります。併せてご確認ください。

岡原消防署 予防担当 ☎79-2442 (直通)

令和4年度全国統一標語 『お出かけは マスク戸締り 火の用心』 春の火災予防運動 3月1日(水)～3月7日(火)

身近な事例に学ぶ

火災予防のポイント

たき火やたばこ等の不始末による火災

たき火や野焼きの火が強風にあおられ、付近の枯れ草や落ち葉に燃え移ったり、消したはずのたき火が再燃し付近の可燃物に燃え移ることが多いです。



たばこを吸ったあと、灰皿等に完全に火が消えてない状態のたばこの吸い殻を捨てたことで、もともと捨ててあった吸い殻や近くの可燃物に火がついて周囲へ燃え広がる人が多いです。

予防のポイント

- 火が完全に消えるまで絶対にその場を離れない。
- 必ず消火できるものを準備する。
- 周囲の状況を把握する。燃えやすい枯れ草の付近で行うのではなく、他に燃え移らない場所で行う。
- 気象を考える。風の強い日は風に煽られ延焼拡大する事があるので、そういう日は実施しない。
- 気象庁で火災気象通報を出している日は、空気が乾燥し火災危険が高い状態となる。そういう日は実施しない。

薪ストーブ又は暖炉による火災

薪ストーブおよび暖炉等の煙突内の煤やタールに火がついて火災になる、ストーブをDIYなどで設置した際、煙突の周囲を不燃材ではなく、可燃性の木などで覆っているため、煙突との設置部分から火災になる等、様々なケースがあります。



予防のポイント

- 暖炉の煙突内は定期的に清掃し、煤等の付着物を取り除く。
- ストーブの設置に関しては、専門業者に依頼し、確実な施工を行う。
- 薪はストーブを購入する業者又は説明書を読むなどして適切な量を入れてください。薪を詰め込みすぎると、大量の薪を燃やすための酸素が足りなくなり不完全燃焼につながります。
- 暖炉の近くに燃えやすいものを置かない。輻射熱で長時間周辺の床や洗濯物などの可燃物を温め続けると徐々に温度が上がって突然燃え始めることがあります。特にストーブを設置する場所の床や壁に断熱処理を施していない場合、火災のリスクが高まります。

ガスバーナー等による火災

ガスバーナーを使用して草焼き等を行っている最中に可燃物に着火し火災となるケース。



予防のポイント

- ガスバーナーを使用するときは説明書を読むなどして適切な使用方法により使用する。
- 燃えやすいもの近くでは使用しない。
- たき火による火災同様、風が強い日や、火災気象通報が出ており火災の危険性が高い日は行わない。
- 必ず消火できるものを準備する。

火災を予防するという事は、皆様一人一人の心がけが大切です。「このくらいなら大丈夫だろう」その「このくらいなら」が取り返しのつかないことに繋がり、大切な生命、身体、財産が奪われてしまいます。ですがそれを未然に防げるのも皆様です。住宅で起こる火災においても「住宅防火いのちを守る10のポイント」の4つの習慣、6つの対策のように、意識するだけで変わります。一人一人の意識で地域の火災予防へ繋がっていきましょう。



諏訪広域消防 原消防署 井上 真希

「社会を明るくする運動」作文コンクール

1月20日、第72回「社会を明るくする運動」原村作文コンクールの表彰式が行われました。

村長賞	原中学校1年2組	森口 花恋
同	原小学校6年1組	小池 遼太
同	原小学校6年2組	長崎 未来
教育長賞	原小学校6年2組	由沢 愛未
保護司会賞	原中学校2年2組	日達 愛蘭
更生保護女性会賞	原小学校6年1組	大井 宙



●●●●●●●●●● 村長賞を受賞した、3人の作品をご紹介します。 ●●●●●●●●●●

学校の役割

原中学校1年2組 森口 花恋

みなさんは障害についてどう考えているでしょうか。一度は障害を持っている人に会ったことがある人が多いと思います。そこで、私は障害やいじめについて考えてみたいと思います。

障害とはさまざまです。例えば、手や足がなくなっってしまった人、脳に障害がある人など色々な障害があります。事故で手や足が無くなってしまいう人もいますが、生まれた時から無い人もいます。

そんな障害は不便だけでなく、いじめにもつながります。

最近はいじめが少なくなってきました。ですが、みんなのいる輪に入れなかったりなど、障害を持つている人と持つていない人は自然とどこかしらで分類されている気がします。

例えば学校。学校はだれもが入れる所ですが、障害がある人専用の学校もあります。それは、障害の人のために作られたと思います。ですが、自然と障害の人と分けられていると私は思います。

また、普通の学校でも障害の人のための教室があります。障害を持つている人は、それがうれしいのかも知れない。でも、社会に出て働くとき、障害を持つているからと言うのは通用しない。仕事として給料をもらっている限り、みんな同じです。障害があるからミスをして良い、障害があるから出来なくても良い、などの言い訳は言えません。最終的に社会に出た時、障害のある人とならない人は同じあつかいをされます。

なので、私はなぜ小学校や中学校で障害のある人とならない人を分けるのか分かりません。小学校や中学校は大人になった時、社会でも通用して行けるように勉強

や集団行動を学びます。

でも、社会に出ていくための練習場所となっている学校で、社会と異なる事を行うのは障害の人のためにも役に立ちません。出来るだけ、たくさんの人と話すことで人生に役立ちます。

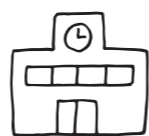
また、障害のない人も障害を持っている人と話すことも重要です。できるだけたくさんの人と話すことで、人間関係をつくっていきましょう。

ですが、私は小学校や中学校のやり方がまちがっているということを言いたい訳では、ありません。実際、そのようなやり方の方がうれしいと思っている人も多くいると思います。

なので、私は少しでも障害を持つている人との交流を増やすことで、おたがいに色々な人間関係を知ることができ、人生に役立っていければ良いと思います。

また、障害の人と交流を深めることによって、いじめなども減っていくと思います。いじめは障害を持つている人だけが体験する事ではありません。ですが、少しでも障害を持つている人が過ごしやすい環境をつくってあげれば良いと思います。私の学年にも障害をもっている人はいます。ですが、私は人見知りをしてしまいうタイプで、あまり話せていません。できるだけ、みんなと同じ生活を送れるように私ができることを協力していききたいと思います。

最後に、私がこの作文で言いたいのは、障害をもっている人と持つていない人を出来るだけ、分類せずにみんな同じように生活出来る環境をつくっていきたいです。そのためにみんなの協力がが必要です。ぜひ、この作文を読んでみんなが生活しやすい環境をつくっていきましよう。



犯罪や差別が無く、公平な社会へ

原小学校6年1組 小池 遼太

僕思う明るい社会は、犯罪や差別が無く、公平な社会です。

僕は、経済格差が大きくなればなるほど、犯罪をする人が増えると思います。人は、お金が無くなると、窃盗や詐欺、人からお金を盗んだり、奪ったりすることがあります。また、特に理由も無いのに、人に暴力を振るったりすることがあります。しかし、これらのことは、経済格差が無くならないと、減らすことができません。他にも、家にお金が無いから高校に行けない、大学に行けないという人もいます。高校や大学に行けなくて、教育の差が広がることもあります。不公平な社会を公平にする為には、財政、賃金、社会保障などに関する政策をとることや、だれもが納得できる制度を作ったり、年齢、性別、障害、人種、民族、生まれ、宗教、などにかかわらず、すべての人が能力を高め、社会的に取り残されないようにすすめることが大切だと思います。

もう一つ、社会を明るくするためには、差別を無くすことが大切だと思います。みなさんは、F1の「ルイス・ハミルトン」という選手を知っていますか？この選手は幼い頃からF1の選手になるのを、夢見ていました。F1の選手になるには、とてもお金がかかるし、家柄も高くないと選手にはなれないのです。しかし、ルイス・ハミルトン選手の家は当時、とても貧しい家でした。そんな貧しいルイス選手でしたが、とても才能がありました。その才能に気付いたルイスの父は、仕事を4つも掛け持ちしてレースを続けさせてくれました。そして、10才の時にイギリスカートチャンピオンを獲得しました。数々の大会で優勝したルイスはF1の選手になりました。しかしルイスは「黒人差別」を

受けるようになったり人に叩かれたりされるようになってきました。けれどルイスは、大会で優勝することだけを考えて必死で練習しました。すると、いきなり4勝を挙げたり、2020シーズンは17戦中11勝、4連覇を達成したり、数々の大会で実績を残し、今ではとても有名なF1ドライバーになりました。そしてルイスはF1ドライバーになりながら、人種差別を無くす活動をし、人種差別で苦しむ人を減らしました。

「どんな時でも前を向く」という言葉で差別をされて

いる人をはげましました。

このことから、僕思う明るい社会は、犯罪や差別が無く、公平な社会です。

この社会は、経済格差が大きくなると、犯罪が増えて、明るい社会になりません。そして、人種差別や身分に関する差別などが無くならないと明るい社会になりません。僕は、さっきも言った通り、だれもが納得できる制度を作ったり、年齢、性別、障害、人種、民族、生まれ、宗教、などにかかわらず、すべての人が能力を高めることが大切だと思います。

社会をよりよくするために

原小学校6年2組 長崎 未来

私は社会をよりよくするために世の中の罪をへらすことが大切だと思います。罪はだれかの心をきずつけるからです。

私がよく読んでいる本の中には自分を愛するよう

んがいない所がない人間なんていません。例えばアニメドラえもんに出てくる野比のび太は、テストでいつも0点を取って昼ねしてばかりです。そんなダメダメな野比のび太も、動物のためにひみつ道具を工夫して使う優しい一面があったり、あやとりが上手。という意外な所もあります。つまりどんなダメダメな人でも必ずいい所があります。私もいつもダメダメでしたが時にはがまん強いと言われる事があります。一つでも自分のいいところがみつければ自分に自信がつき、自分を愛する事ができます。自分のいい所をみつければみつけるほど、だれかを救えるきっかけにもなります。そのためには自分の悪い所をみつける必要があります。なぜかという自分の悪い所を改善し、良い所に変えられるからです。自分がすぐ怒ってしまうのならすぐ許せる人になる。自まをよくしてしまいうなら相手のよい所を話してあげる、など色々な事があります。でも無理に全て直さなくてもいいのです。むしろ全て直せる人はいません。なぜなら人間は完璧きではないからです。なにか怖いものやできないものがあるって当分です。自分なんかとマイナスに考えるのはやめましよう。完璧きではない人間が人間として完璧きなのです。人と個性ががぶついても出来ることと出来ないことが全くとしょという事はないので、張り合うのはやめましよう。

これらの事から、自分にいい所はぜったいなマイナスになることはやめましよう。それらのばかり罪がうまれ、だれかや自分がきずつく事があるからです。もし自分のいい所がみつからない時は、友だちなどにきましよう。自分は気づいていないけれど、周りからは気づいた事や思った事がたくさんあるからです。チャレンジする事や、自分のいい所をみつけ、世の中から罪を減らすことが、社会をよりよくするために必要な事だと思いました。